

## 主要参考文献

1. 中国建設部、国家品質監督検査検疫総局：「木構造設計規範」（2005年版）
2. （中国）木構造設計手引編集委員会：「木構造設計手引」
3. （中国）木材・複合材料構造委員会：「集成材構造技術規範（審議用案）」
4. 強度性能研究会：「製材品の強度性能に関するデータベース データ集（7）」
5. 日本建築学会：「木質構造限界状態設計指針（案）・同解説」
6. 建築物の構造関係技術基準解説書編集委員会：「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」

## 付属資料 A 中国「木構造設計規範」改定大綱

改定原則：「規範」の現行体系をベースに、中国の実情に合わせて「規範」の中で早急に解決すべき内容について適切な修正と補完を行う。改定作業中には、「規範」の施行可能性、継続性、実用性を十分に考慮し、改定内容に関する適当な研究を行う。

### 1. 総則

責任者：龍 衛国

改定重点：

- 適用範囲に伝統建築、伝統的な民居を加える
- 木構造建築の適用階数について研究

### 2. 用語と記号

責任者：楊 学兵

### 3. 材料

#### 3.1 木材

責任者：王 永維

参加機関：中国建築西南設計研究院、中国林業科学研究院、アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド、日本木材輸出振興協議会

改定重点：

- 中国産木材、輸入木材の樹種及び分類を決める
- 各種木材に対する材質規定を改定、補完
- 木材含水率の規定を決める
- 輸入木材利用の規定を決める

#### 3.2 鋼材及び金物

責任者：何 敏娟

参加機関：重慶大学、四川大学

改定重点：

- ネイルプレート接合や集成材構造の接合の性能要求

### 4. 基本設計規定

#### 4.1 設計原則

責任者：王 永維

#### 4.2 設計指標と許容値

責任者：王 永維

参加機関：中国建築西南設計研究院、中国林業科学研究院、アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド、日本木材輸出振興協議会

改定重点：

- 中国産木材と輸入木材の樹種分類及び強度等級を決める

- 各種材料（角材、板材、ディメンションランバー、集成材ラミナ、構造用複合材料、ネイルプレート等）の強度設計指標を改定、補完
- 輸入木材の強度設計指標の確定方法を決め、強度調整係数を検討
- 新たに追加しようとする樹種と材料について検討し、その強度等級と設計指標を決める

#### 4.3 耐震設計基本規定

責任者：何 敏娟

参加機関：四川省建築科学研究院、関係設計機関、カナダウッド

改定重点：

- 耐震についての原則的な規定を加える
- 木構造の耐震設計の特殊要求を明確化

#### 5. 木構造部材の計算

責任者：祝 恩淳

参加機関：重慶大学、四川大学、アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド、  
日本木材輸出振興協議会

改定重点：

- 各部材の計算と検証計算に係る計算式の統合を目的に全面に研究分析
- 耐力壁と間仕切壁の設計計算についての規定の新設を検討

#### 6. 接合部の計算

責任者：何 敏娟

参加機関：重慶大学、四川大学、アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド、  
日本木材輸出振興協議会

改定重点：

- 各種接合に係る計算式の統合を目的に全面に研究分析
- 植え込み鉄筋接合、ポルト接合、木ネジ接合についての規定の新設を検討

#### 7. 原木・製材品を用いた木構造

責任者：楊 学兵

参加機関：四川省建築科学研究院、上海現代建築設計集団、日本木材輸出振興協議会

改定重点：

- 伝統建築、伝統的な民居に関する設計規定を加える
- 軸組構造の構造要求と耐震構造の規定を決める

#### 8. 集成材構造

責任者：許 方、楊 学兵

参加機関：四川省建築科学研究院、北京林業大学、欧州ウッド、日本木材輸出振興協議会、  
カナダウッド、国内関係企業

改定重点：

- 「集成材構造技術規範」を参考し補完

## 9. 枠組壁構造

責任者：倪 春、何 敏娟

参加機関：欧州ウッド、四川大学、上海現代建築設計集団、日本木材輸出振興協議会、  
カナダウッド、国内関係企業

改定重点：

- 枠組壁構造の設計規定を補完
- 「木製トラス規範」を参考し木製トラスの設計内容を加える
- 構造用複合材料及びハイブリット構造の設計規定を加える

## 10. 木構造の防火設計

責任者：四川消防研究所、天津消防研究所

参加機関：アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド

## 11. 木構造の保護

責任者：蔣 明亮、殷 亜方

参加機関：重慶大学、アメリカ APA 協会、カナダウッド、欧州ウッド、  
日本木材輸出振興協議会

付属資料 B 日本産木材説明会参加者名簿

No.	氏名	所属先	備考
1	宗志花	奇高地産	企業
2	李永静	"	
3	宮陽	"	
4	李育徳	"	
5	尹永昌	"	
6	王延勝	北京不動産グループ有限公司	
7	王磊	"	
8	徐冰	"	
9	馬芸輝	"	
10	張効思	北京宇星国科科技発展有限公司	
11	白鳴鐘	"	
12	朱彤	"	
13	邵威	青島ハイアール地産集団有限公司	
14	邱鋼	仁恒地産(蘇州)有限公司	
15	向兵	安徽鴻路鋼構造(集団)	
16	姚永濤	山東三箭不動産開発有限公司	
17	李華雷	林徳森建材販売(北京)有限公司	
18	田島裕敬	福美化学工業株式会社	
19	武彦佳	越井木材工業株式会社	
20	周立衡	天津格林康耐科技発展有限公司	
21	車華	山東威海源林景觀工程公司	
22	丁曉傑	"	
23	畢宏偉	江蘇錦綉前程木業有限公司	
24	候晶秋	北京京都星火節能技術開発有限責任公司	
25	李征程	未来之家置業有限公司	
26	王暉	北京瑞嘉歐亜木業有限公司	
27	王慶強	聖象集団有限公司	
28	秦力軍	石家荘旭昌貿易有限公司	
29	宋輝	北京宏耐嘉業建材有限公司	
30	呂建雄	中国林業科学研究院木材工業研究所	研究
31	趙榮軍	"	
32	周海濱	"	
33	徐偉濤	"	
34	王朝暉	"	
35	王月仙	北京華建建築標準開発センター	
36	葉小仙	北京綠色盾安建築環境技術研究院	
37	王振威	"	
38	敖宇佳	黒龍江省木材科学研究所	教育
39	張達山	国家林業局林産工業設計院	
40	李科汗	北京市電子工業技術学校	
41	申世傑	北京林業大学材料科学技術学院	団体
42	劉燦	中国城郷住宅建設部住宅産業化促進センター	
43	王江	"	マスコミ
44	王采采	中国不動産経理者連盟	
45	蘇金玲	国際木文化学会	
46	宋京平	中国建設報	
47	高偉	中国不動産報	
48	李明艶	中国網	
49	許方榮	林産工業雑誌	
50	楊玉蘭	中国綠色時報	
51	胡琴	中国林業雑誌	
52	陳堂	北京世研伝媒広告有限公司	
53	肖立偉	東亜企業家雑誌	
54	金森球	北京百海麗国際商務コンサルタンツ	
55	於勇華	"	
56	郭亜偉	北京諾爾威ネット技術	
57	林俊	"	
58	張偉	北京班徳企業イメージ設計公司	
59	陳明	"	
60	陳奕天	"	
61	武華	"	

付属資料 C 日本産木材説明会における講演内容<sup>20</sup>

1. 林野庁林政部長 末松 広行氏の講演スライド



<sup>20</sup> 講演に用いたスライドは中国語版であるが、国内向けの報告書であるため、ここに日本語版を掲載する。

### 森林資源の現状

○ 日本の森林の約4割が人為的に造林等を行った人工林。樹種別に見ると、人工林1,035万haのうち、スギが43%と最も多く、次いでヒノキが25%。

○ 森林の蓄積は、人工林を中心に毎年増加し、総蓄積は約44億m<sup>3</sup>。毎年、日本の木材需要量に相当する8千万m<sup>3</sup>の増加。

#### 日本の森林資源（蓄積）の推移



資料：林野庁業務資料

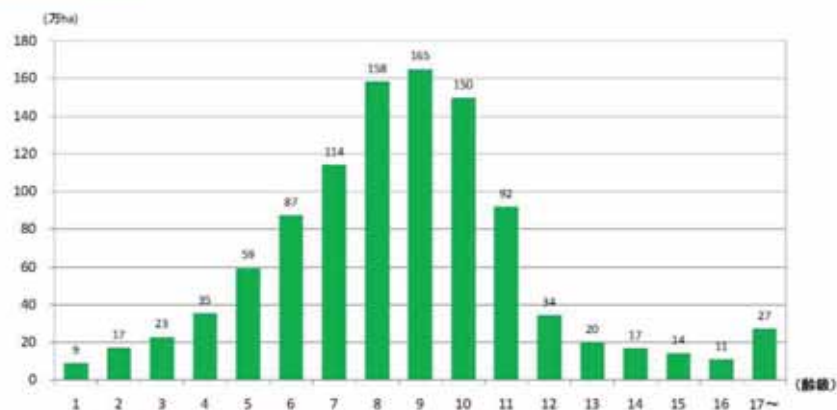
注：1) 各年の3月31日現在の数値である。  
 2) その他は無立木地(伐採跡地、未立木地)、竹林である。  
 3) 四捨五入の関係で、総数と内訳の計は必ずしも一致しない。

### 人工林の現状

○ 人工林の齢級構成は、9齢級（45年生）以下のものが6割以上を占め、保育、間伐等の手入れが必要な状況。

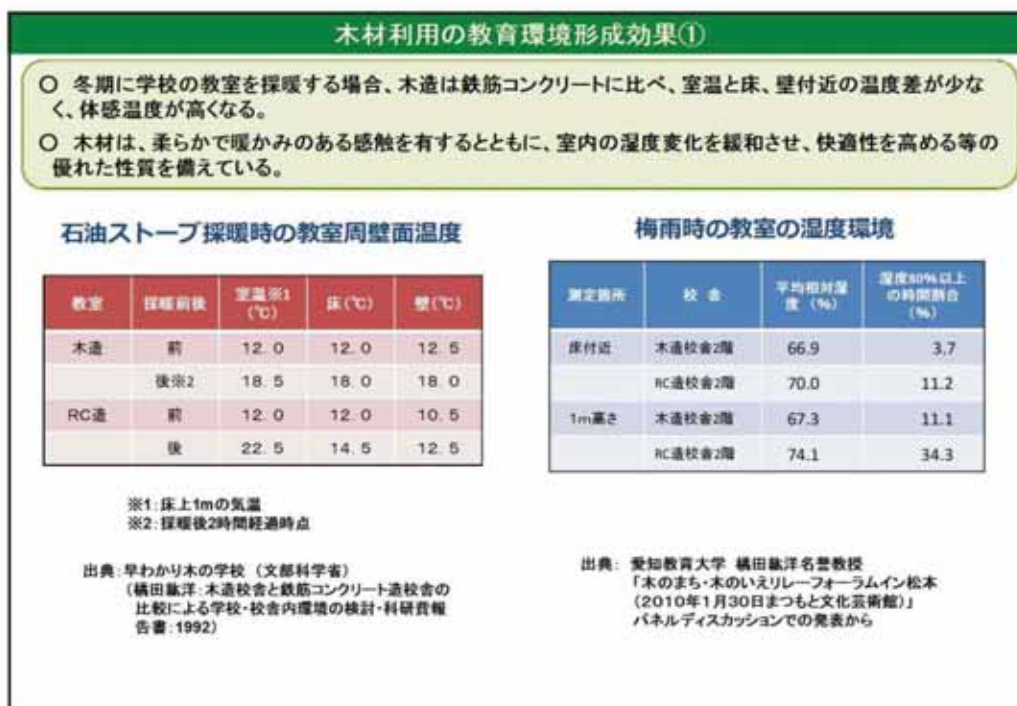
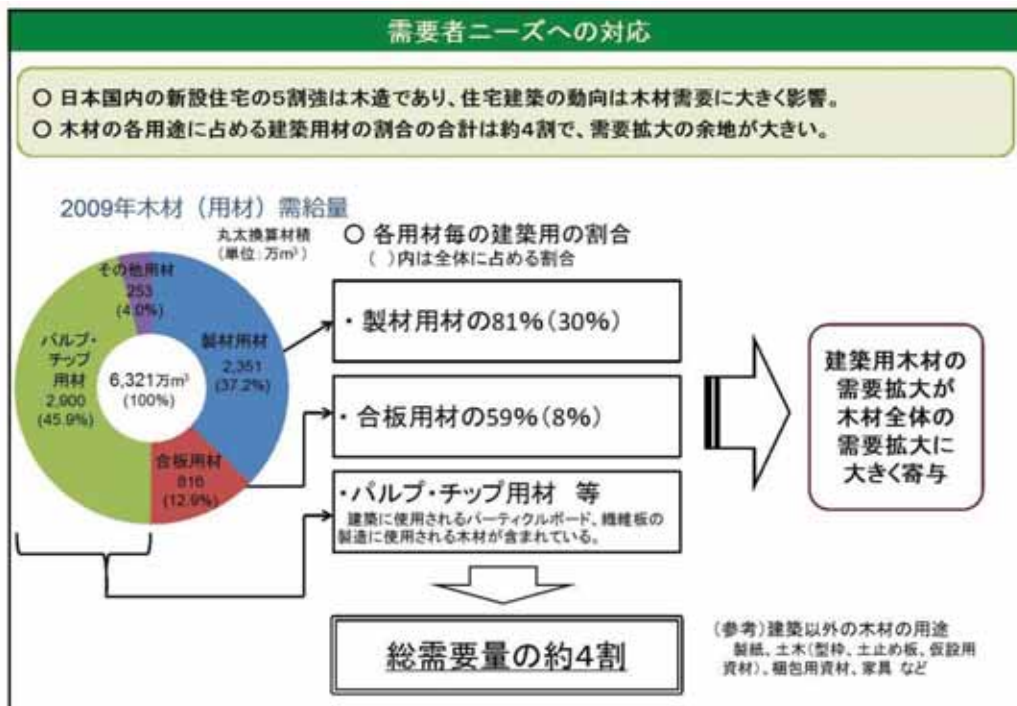
○ 人工林は、今後10年間で約6割が利用可能な高齢級の森林に移行する見込み。

#### 人工林の齢級別面積



資料：林野庁業務資料

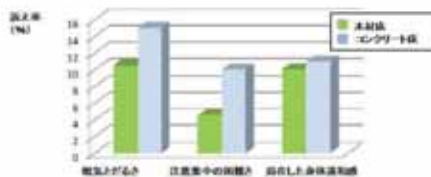
注：1) 森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画の対象となる森林の面積である。  
 2) 2007年3月31日現在の数値である。



## 木材利用の教育環境形成効果②

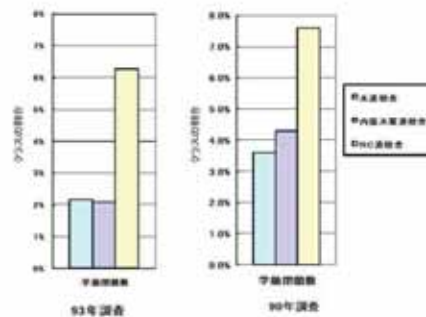
- 木材床よりコンクリート床で過ごした場合の方が、足下の冷えにより「眠気とだるさ」、「注意集中の困難さ」を訴える場合が多い。
- 木造校舎又は内装を木質化した場合、鉄筋コンクリート造校舎に比べ、冬期のインフルエンザによる学級閉鎖率が低く、インフルエンザの蔓延が抑制される傾向。

低温環境下における床材質の違いによる自覚症状の比較



出典：早わかり木の学校（文部科学省）  
（天野敦子：木造校舎の教育環境、住木センター、P41:2004）

インフルエンザによる学級閉鎖数  
「高木質群-低木質群」



出典：愛知教育大学 橋田純洋名誉教授  
「木のまち・木のいえリレーフォーラムイン松本(2010年1月30日  
まつもと文化芸術館)」パネルディスカッションでの発表から

## 公共建築物等における木材の利用の促進

- 2010年10月に、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行。
- 国、地方公共団体が率先して木材を活用していくことにより、多数の市民に木材の良さを理解してもらうことを期待。

### <基本方針>

低層の公共建築物については原則として全て木造化を図る

### 木材利用促進のための支援措置の整備

#### <法律による措置>

- 計画に従って行う取組に対して、林業・木材産業改善資金の特例等を措置

#### <木造技術基準の整備>

- 官庁営繕基準について木造建築物に係る技術基準を整備

#### <予算による支援>

- 品質・性能の確かな木材製品を供給するための木材加工施設等の整備への支援
- 展示効果やシンボル性の高い木造公共建築物の整備等を支援

効果的に木材利用の拡大を促進

林業・木材産業の活性化と森林の適正な整備・保全の推進、木材自給率の向上

### (木造事例) 特別養護老人ホーム



#### 概要

- 1 建築概要**
  - ・建築面積 3棟 3,934㎡
  - ・延床面積 5,587㎡
  - ・構造 木造2階建(高知県産材1,327㎡)
  - ・事業費 約10億円(単価:約18万円/㎡)
  - ・定員 80名(個室88室)
  - ・住所 高知県安芸郡芸西村西分乙297番地
- 2 特徴**
  - ・社会福祉法人土佐香美福祉会が、高知県等の補助を受け建設
  - ・全国初の木造2階建、準耐火建築物による老人ホーム 構造改革特別区域計画により実現

### (木造事例) 中学校の校舎



※ 一定の規模以上施設は耐火建築物としなければならないが、鉄筋コンクリート造(RC造)など耐火構造でつないだ場合、それぞれを別棟とみなすことができ、耐火規制が緩和されるため、木造建築物とすることが比較的容易になる。



#### 概要

- 1 建築概要**
  - ・延床面積 8棟 12,585㎡
  - ・構造 木造2階建(一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造)
  - ・講室数 51部屋
  - ・住所 栃木県芳賀郡茂木町茂木72
- 2 特徴**
  - ・地元茂木町町有林のスギ・ヒノキ間伐材を使用(伐採面積36ha、伐採材積1,580㎡)
  - ・栃木県林業センターと宇都宮大学が協力し、木材の強度試験や乾燥率調査を実施、JAS同等の品質を確保
  - ・採用している井桁工法については、東京大学において実大構造強度試験を実施

### (木造事例)国有林の森林管理署




完成後の事務室



施工中の事務室

**概要**

**1 建築概要**

- ・建築面積 411㎡
- ・延床面積 495㎡
- ・構造 木造2階建
- ・木材使用量115㎡  
(スギ69㎡、ヒバ8㎡、カラマツ19㎡)
- ・事業費 約9700万円  
(単価:約20万円/㎡)

**2 特徴**

- ・住所 青森県十和田市西二番町1-27
- ・木材は地元産材とし、大スパンが必要な事務室空間にはカラマツの大断面集成材を使用し、その一部を露出させ天井部にメリハリを付けた。
- ・また、土台、外壁には腐朽に強い青森ヒバを使用した。
- ・内装材には、青森ヒバ、スギ、甲地アカマツを効果的に使い、木の柔らかさ、温もり、優しさを生かした建物とした。

### 森林・林業再生プランの推進

強い林業の再生に向け、**路網整備**や**人材育成**など集中的に整備し、今後、10年以内に外材に打ち勝つ国内林業の基盤を確立  
 山元へ利益を還元するシステムを構築し、やる気のある**森林所有者・林業事業者**を育成するとともに、林業・木材産業を地域産業として再生  
 木材の**安定供給体制**を構築し、**需要を外材から取り返して**、強い木材産業を確立  
 低炭素社会づくりに向け、我が国の社会構造を「**コンクリート社会から木の社会**」に転換

#### 《木材の安定供給体制を構築し、儲かる林業を実現》

ただちに取組を開始

低コストで耐れにくい路網の普及  
**路網**

路網の作製オペレーター等の育成

集約化・搬出回伐に向けた手戻の集中化  
**集約化**

集約化を進めるための人材育成

**路網整備の徹底**

今後10年間でドイツ並みの路網密度を達成

【集約可能な森林(人工林の2/3程度)について、低コスト作業システムに必要な路網密度(車輦系:100m/ha、牽引系:30~50m/ha)を今後10年間で確保】

- 施業の集約化が促進(低コスト化)
- 搬出回伐へ転換(資源の有効利用)
- 国産材利用の課題解消(木材の安定供給)

2010年度中に制度的な検討

計画的な施業による適切な森林管理への誘導と安定的な木材供給の確保  
**安定的な木材供給**

計画的で適切な森林施業や林業経営を支える「**日本型フォレスター制度**」の創設  
**フォレスター**

森林所有者への施業提案能力の強化等による森林組合の改革と民間事業者の育成強化

管理放棄地に対するセーフティネット体制(公的森林整備)の確立  
国民共通の財産である国有林の技術力の活用  
**セーフティネット**

国産材の加工流通構造の改革  
小規模・分散・多段階 → 大規模・統合的・国産材の加工・流通体制の確立

国産材住宅の推進

公共建築部等における木材利用の推進

バイオマス利用の促進

新規需要の開発

～ コンクリート社会から木の社会へ 木材自給率50% 低炭素社会の実現 ～

2. 東京大学名誉教授、NPO 木材・合板博物館館長 岡野 健氏の講演スライド

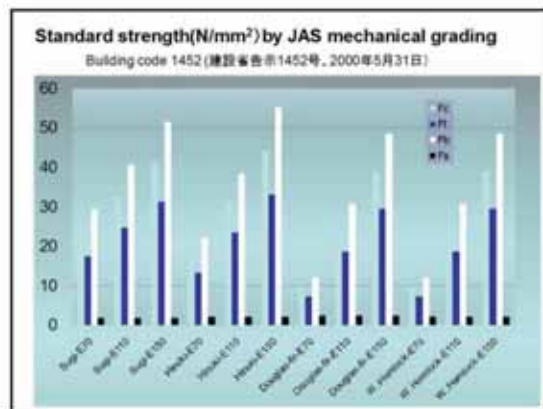




### Durability of wood species

high, medium, low

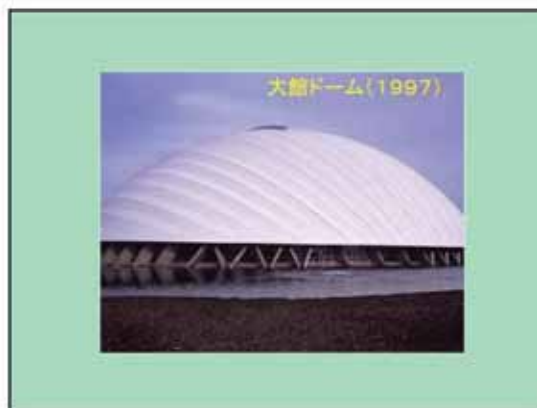
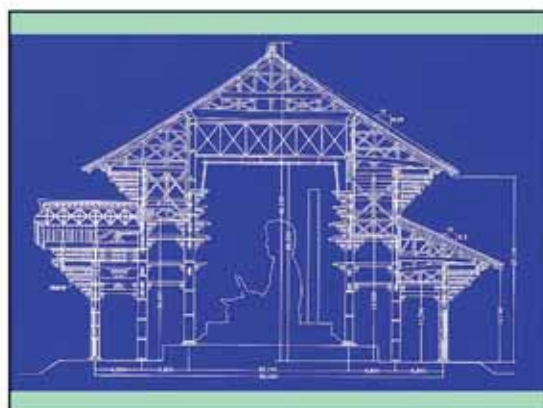
<p>1. Taxodiaceae</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Cryptomeria japonica</i></li> <li>• <i>Cunninghamia lanceolata</i></li> </ul>	<p>2. Cupressaceae</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Chamaecyparis obtusa</i></li> <li>• <i>Xanthocyparis laevissoniana</i></li> <li>• <i>X. nodatensis</i></li> <li>• <i>Thuja plicata</i></li> <li>• <i>Thujaopsis dolabrata</i></li> </ul>	<p>3. Pinaceae</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Pinus densata</i>, <i>P. thunbergii</i></li> <li>• <i>P. koraiensis</i></li> <li>• <i>P. sylvestris</i></li> <li>• <i>P. radiata</i></li> <li>• Southern pine</li> <li>• <i>Larix kaempferi</i>, <i>L. gmelini</i></li> <li>• <i>Tsuga heterophylla</i></li> <li>• <i>Pseudotsuga taxifolia</i></li> <li>• <i>Picea abies</i>, <i>P. jezoensis</i>, <i>P. sibirica</i></li> <li>• <i>Abies firma</i>, <i>A. spp.</i></li> </ul>
---	---	--



### Conclusion

- Durability of wood depends on its species, therefore selection of the species is very important for us to keep house long time.
- Both of Sugi and Hinoki are rather durable, and those plantation area are ca 4,505,000 ha (44.8% of total man-made forest) and ca 2,600,000 ha (25.8%), respectively in Japan.
- Stock of Sugi and Hinoki are  $1,510 \times 10^6 \text{m}^3$  (57.1% of total wood stock) and  $571 \times 10^6 \text{m}^3$  (21.6%), respectively in Japan.

3. 静岡大学教授 安村 基氏の講演スライド<sup>21</sup>



<sup>21</sup> 講演スライドが 52 枚であるが、ここで一部を割愛して掲載する。



小学校(長野県)



宮崎県木材利用技術研究センター

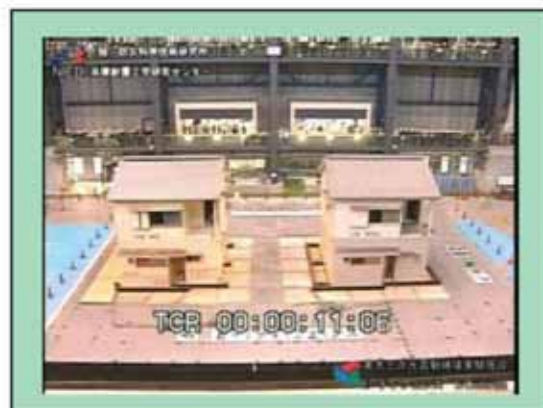
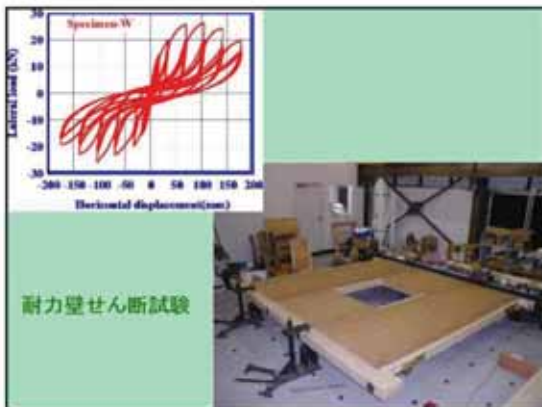


特別養護老人ホーム(静岡県)



構造、内装には地元の杉材が用いられている





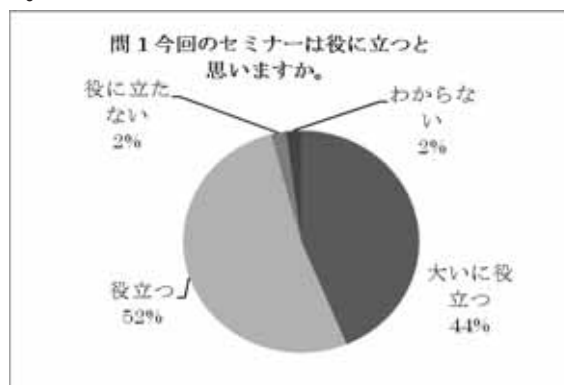
## 付属資料 D 日本産木材説明会アンケート調査概要

「日本産木材説明会」(以下、「セミナー」と略称する。)は、2010年10月29日(金)13時30分-16時30分に中国北京市の北京展覽館 3階会議室にて開催され、中国住宅城郷建設部住宅産業化促進センター主任 劉 燦氏及び日本国在中華人民共和国大使館参事官 佐竹 健次氏のご挨拶を受けた後、「日本の森林・林業・木材利用」(講師:林野庁林政部長 末松 広行氏)、「Sugi and Hinoki, Best wood for house construction in Japan」(講師:NPO木材・合板博物館館長 岡野 健氏)、「日本における木造建築の展開」(静岡大学教授 安村 基氏)という3つの講演、「木質軸組金物構法住宅について」(ミサワホーム株式会社MJ-WOOD推進室長 島田 直人氏)、「高耐久新素材」(越井木材工業株式会社中国市場開拓室長 邱 祚春氏)という2つの日本産木材利用事例の紹介が行われた。

61名の出席者に対し、①セミナーの参加目的、②セミナーの内容に対する満足度、③中国における日本産木材&木造技術利用の推進価値、④推進価値の有無の理由についての感想及び意見を伺うことができた。48名からの回答が得られ、結果は以下のとおりである。回答率は79%であった。

### 問1. 今回のセミナーは役に立つと思いますか。

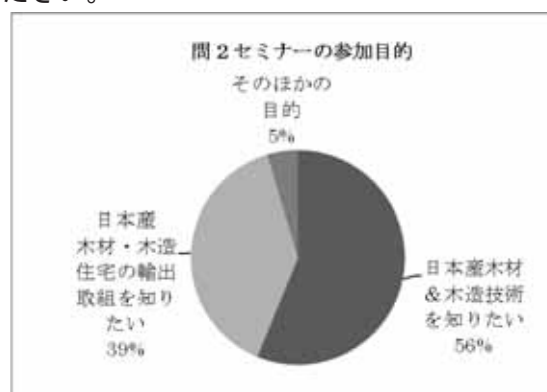
今回のセミナーが役に立つかどうかの問いでは、「役立つ」、「大いに役立つ」の回答がそれぞれ52%、44%で、合わせて96%にのぼる。「役に立たない」、「わからない」ともに2%のみにとどまった。



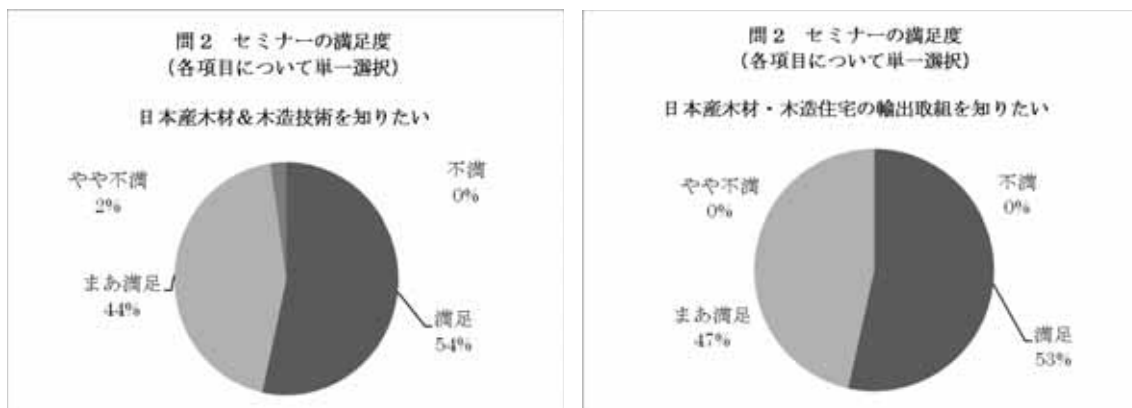
### 問2. セミナーの参加目的をお教えてください。

セミナーの参加目的については「日本産木材&木造技術を知りたい」が最も多く56%、「日本産木材・木造住宅の輸出取組を知りたい」が39%であった。

また、「日本産木材&木造技術を知りたい」という目的に対する満足度は、「満足」が半数以上を占め54%、「まあ満足」が44%であった。一方、「やや不満」、「不満」はそれぞれ2%、0%であった。



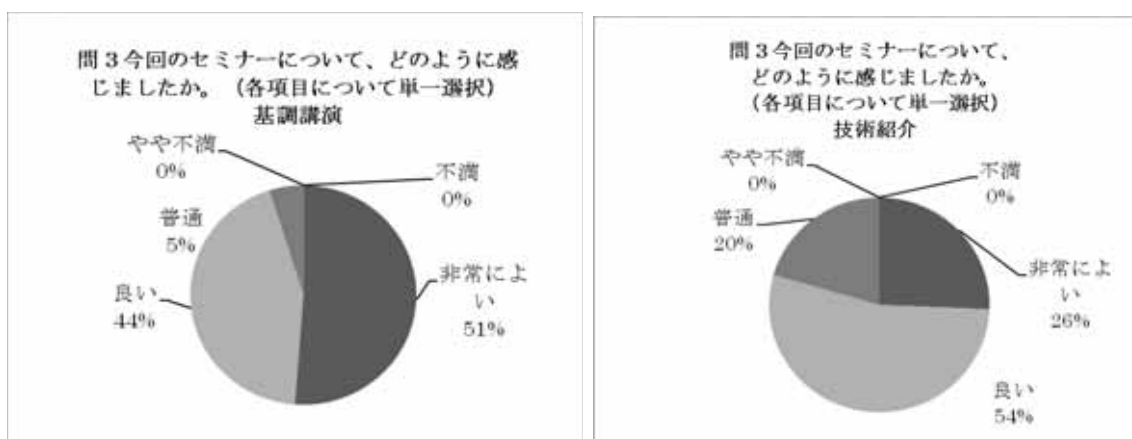
「日本産木材・木造住宅の輸出取組を知りたい」という目的に対しては、「満足」が53%、「まあ満足」47%、「やや不満」、「不満」は見られなかった。



### 問3. 今回のセミナーについて、どのように感じましたか。(各項目について単一選択)

基調講演については、「非常によい」が最も多く51%、続いて「良い」が44%、「普通」が5%で、「やや不満」、「不満」はなかった。

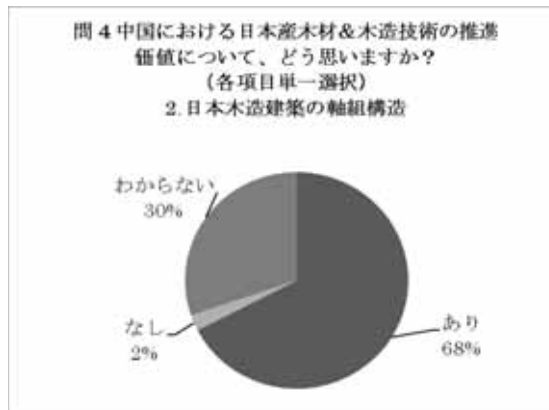
日本産木材の利用事例の紹介（技術紹介）については、「良い」との回答が最も多く54%、「非常によい」が26%と続き、「普通」が20%で、「やや不満」、「不満」は見られなかった。



### 問4. 中国における日本産木材&木造技術利用の推進価値について、どう思いますか？(各項目について単一選択)

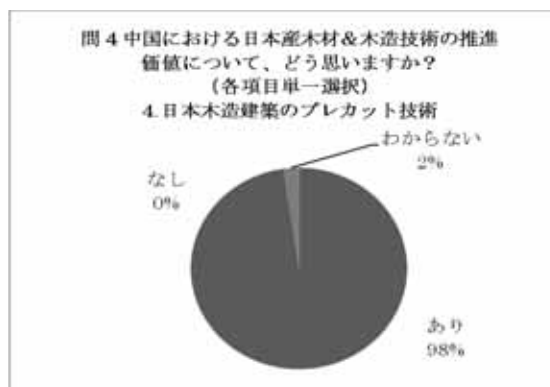
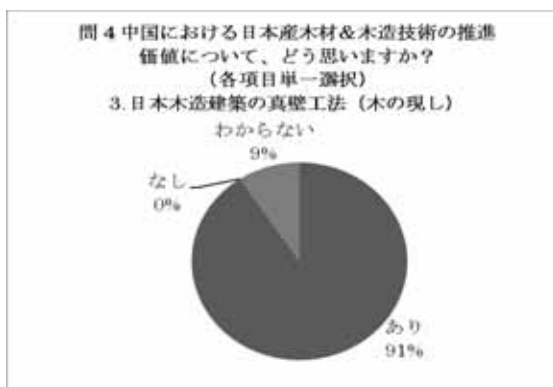
日本産木材（スギ、ヒノキ）の推進価値について、「価値があるか」について「わからない」との回答が47%と最も多く、次に「あり」で44%、「なし」との回答も9%と少数ながら見られた。

日本木造建築の軸組構造利用の推進価値については、「あり」と回答した参加者が68%、「わからない」が30%、「なし」が2%であった。



日本木造建築の真壁構法（木の現し）の推進価値については、「あり」との回答が最も多く91%、「わからない」が9%、「なし」が0%であった。

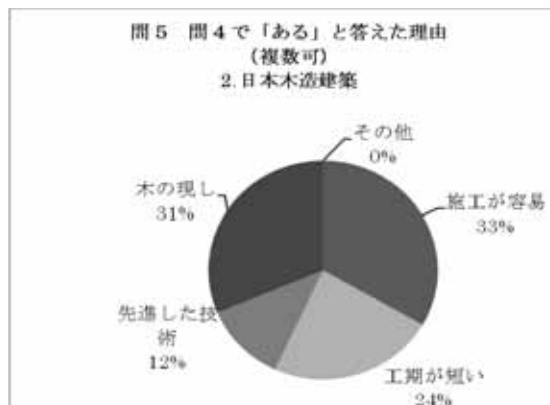
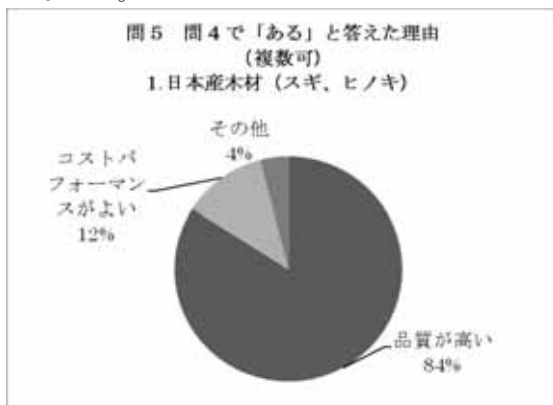
日本木造建築のプレカット技術の推進価値については、「あり」との回答が98%、「わからない」が2%、「なし」は0%であった。



問5. 問4で「ある」と答えた理由をお教えてください。(複数可)

日本産木材（スギ、ヒノキ）利用の推進価値が「ある」と答えた理由では、「品質が高い」との回答が84%、「コストパフォーマンスがよい」が12%、「その他」が4%であった。

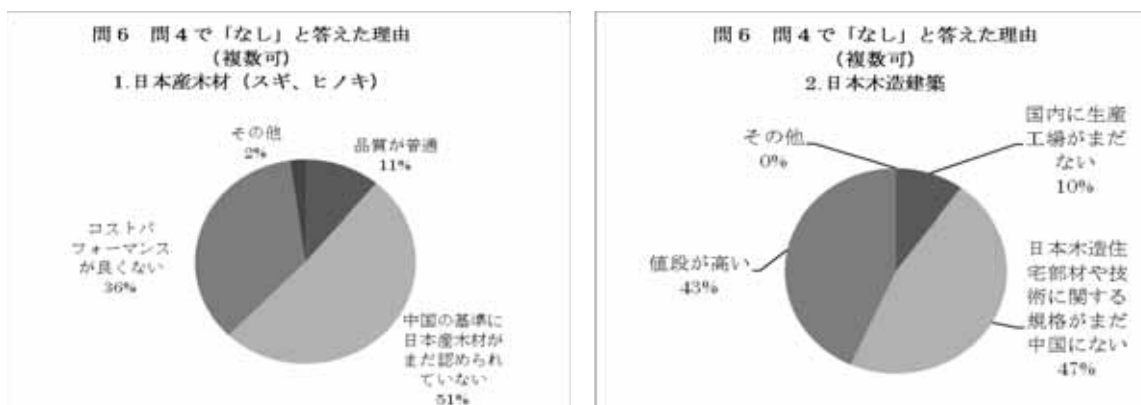
日本木造建築の推進価値が「ある」と答えた理由では、最も多かったのは「施工が容易」で33%、次に「木の現し」が31%、続いて「工期が短い」で24%、「先進した技術」は12%となった。



問6. 問4で「なし」と答えた理由をお教えてください。(複数可)

日本産木材(スギ、ヒノキ)利用の推進価値「なし」と答えた理由では、「中国の基準に日本産木材がまだ認められていない」が51%と最も多く、「コストパフォーマンスが良くない」が次いで多く36%、「品質が普通」11%、「その他」2%と続いた。

日本木造建築の推進価値が「なし」と答えた理由では、「日本木造住宅部材や技術に関する規格がまだ中国にない」が最も多く47%、「値段が高い」が43%、「国内に生産工場がまだない」が10%と続いた。

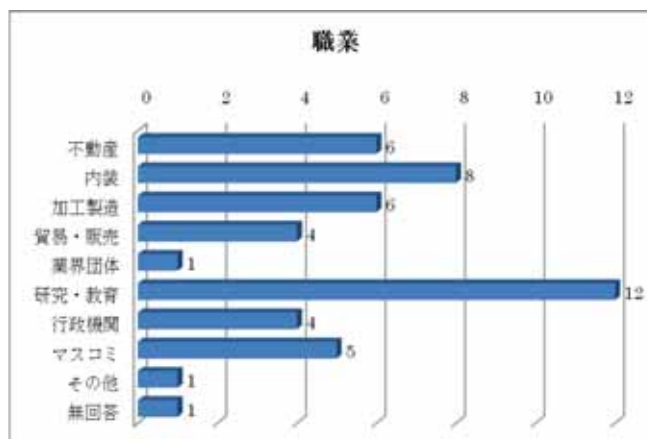


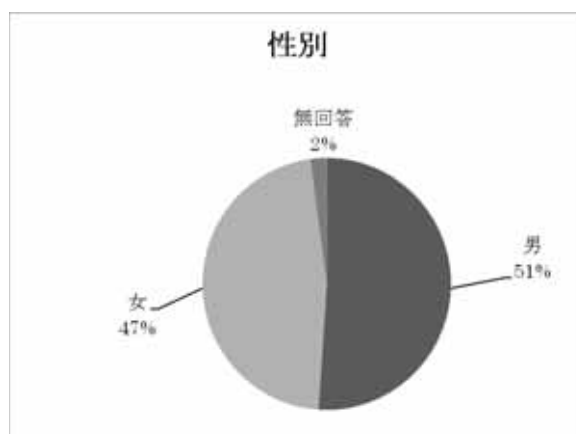
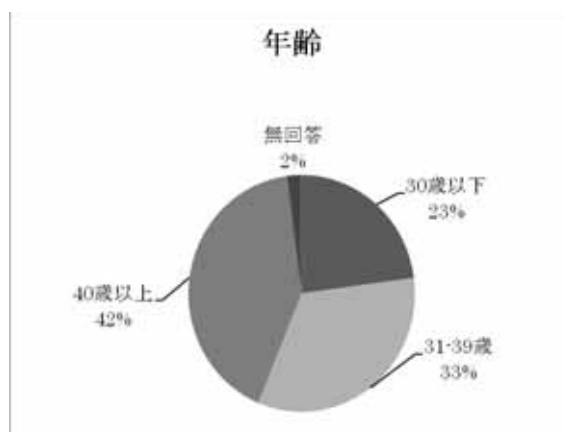
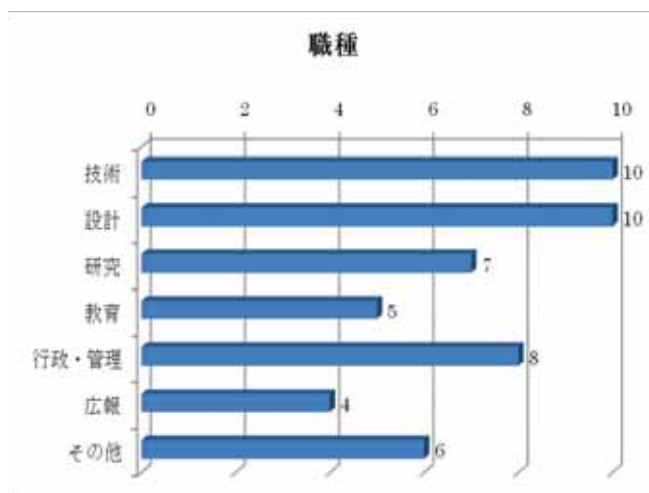
なお、回答者の属性では、職業で最も多かったのが「研究・教育」で12名、「内装」が8名、「不動産」、「加工製造」が並んで6名、「マスコミ」が5名、続いて「貿易・販売」、「行政機関」が4名ずつ、「業界団体」が1名、「その他」1名となった。

職種については、「技術」、「設計」がともに多く10名、続いて「行政・管理」が8名、「研究」が7名、「教育」が5名、「広報」4名と続いた。

年齢で見ると、40歳以上が最も多く42%、31-39歳が33%、30歳以下が23%となった。

参加者の性別は男性が51%、女性が47%であった。





1. 事前告知記事

2010.10.27

# 投资客转场

□ 李燕楠 / 文

投资客身影再次活跃，不过这次不是在一线城市，而是逐渐出现在一些尚未限购的二线城市。随着大连限购令的落地，我国目前颁布限购令的城市已达14个。就在北京、上海等地楼市因“限购令”导致交易量萎缩时，曾因拍卖总价最高而备受瞩目的长沙北辰三角洲首开区1期1021套房源近日开始销售，尽管均价已达每平方米7200元，却迅速售罄。业内人士表示，由于尚未受到“限购令”影响，长沙、长春等国内房地产二线城市近期成交量可能出现集中反弹迹象，而这其中并不乏投资客积极参与的因素。

据悉，虽然广州、南京等地已严格执行限购令，但广东、江苏等省内二线城市房产交易却相当热闹。其中除了本地客外，更有从北京、上海等一线城市过来寻找投资机会的投资客。《中国建设报·中国住房》记者发现，被限购区域冷、周边楼市热的局面正渐成趋势。不过，这对于限购区域周边二三线城市来说，是否迎来了新的发展机遇，仍是未知数。

**“到外边去投资”**

随着限购令的颁布，去外地投资、投资哪些房产成为不少投资客开始考虑的问题。而就近的周边楼市成为不少投资客的首选，南京一小时都市圈内

的项目，更是不错。到这种做代理总经理的项台绿城南京绿城人是他对划经理由于该内，因影响。“从近其来一次销售人其就”。

浙江人雅居乐京购房者即京周边发商也事价。高要因素等二三多在每今年年人高涨

□ 市场简讯

## 中日木结构技术交流论坛将开

本报讯 记者宋平报道 10月29日，由日本木材出口振兴协议会主办的“中日低碳环保型木结构住宅产业化技术交流论坛”将在北京举办。该论坛是由住房和城乡建设部主办、住房和城乡建设部住宅产业化促进中心、中国房地产业协会、中国建筑文化中心、北京市住房和城乡建设委员会共同承办的第九届中国国际住宅产业博览会的配套活动之一。

木结构建筑以其耐久性、施工周期短、抗震性强、设计布置灵活、保温节能性好等特点受到广泛关注。在绿色建材、绿色建筑和健康住宅日益受到重视的中国市场，木材作为健康、节能、环保的建材必将越来越受到人们的推崇和喜爱。日本木材出口振兴协议会希望通过本次交流活动，在低碳环保型木结构住宅和木材利用领域加强与中国同行的交流。

## 万科拟推期权计划

□ 本报记者 张东林 北京报道

10月25日，万科董事会公布了刚刚审议通过的2010年A股股票期权激励计划草案，拟向851名激励对象授予总量1.1亿份的股票期权，占目前股本总额的1.0004%；激励对象人数占万科目前在册员工总数的3.94%。

根据公告，万科此次拟授予的股票期权，有效期为4年，行权价格按激励计划草案公布前一个交易日的万科A股股票收盘价和前30个交易日内的万科A股股票平均收盘价孰高者确定，为8.89元。根据规划，上市公司期权计划在董事会公告后，还需取得监管部门的备案无异议，然后提交股东大会审议；经过股东大会批准后，方能正式实施并将期权授予激励对象。

近年来房地产调控已成为常态，国内宏观经济形势复杂，地产行业的周期性显著加大。有分析人士指出，从万科此次股票期权激励计划的行权条件来看，对于业绩考核指标的设定较之前的限制性股票计划更为严格，考虑到未来市场的波动性和风险，万科的管理

团队要想顺利获得奖励并不轻松。房地产业属于资金密集型行业，从过去几年的情况来看，大型房地产企业的快速扩张往往都离不开融资的推动。万科董事会秘书谭华杰坦言，万科在2005-2007年的高速增长，其背后也与资本市场的大力支持有密切关系。万科在2006年和2007年连续成功实施股权激励，为公司的外延式增长提供了动力。万科目前的规模已进入新的发展阶段，需要由规模速度型向质量效益型增长转化，而近年来行业调控力度不断加大，企业的融资环境也受到影响，因此无论是从外部环境，还是自身发展阶段的角度出发，预计未来一段时间，万科将更为重视内涵式增长。

2010年4月及9月，国家两次密集出台房地产调控政策，尤其抑制投资性购房需求的措施，力度之大为历史前所未有，必将对市场产生显著影响。万科在这一时期推出期权激励方案，是否意味着管理团队有充足的信心应对市场调整？这一点似乎可以从万科近期的销售业绩中得到佐证。今年以来，万科在变动市场中仍然保持着较快的销售速度，1-9

月，万科累计实现销售面积601.1万平方米，销售金额714.2亿元，销售金额已超过2009年全年。

不过，在谈及后续市场的形势时，万科仍然表现出了充分的谨慎。谭华杰表示，“万科的快速开发、谨慎投资策略，2009年以来取得了显著成功，未来万科小户型、装修房比例高等产品结构上的优势依然存在，公司有信心继续扩大市，但政策的影响不可低估，实际上9月政策出台以来，市场的整体销售速度已刚开始明显放缓。”

他认为，未来对房地产行业的调控将成为一种常态，行业的周期性调整难以避免，但正因为如此，企业更需要建立立足长远的激励机制。

“股票期权激励计划是万科战略落地的重要环节，目的在于建立股东和职业经理人团队之间的利益共享和约束机制，这一目标并不会因为市场环境的变化而改变。未来一段时期，行业确实会面临诸多挑战，在这个时候，推出期权激励计划，一方面增强了股东对公司的信心，另一方面，也为管理团队设定了明确的奋斗目标，有助于管理团队在应对市场挑战时更好地发挥积极性，为股东创造更大价值。”

## 华熙集团

□ 本报记者 刘永涛 北京

10月29日，王菲演唱在北京五棵松体育馆举办。京奥运会闭幕后该馆承接多的一份商业演出合同。经过的北京奥运会全球比赛五棵松体育馆在“后奥运”复当时的火爆风光，忍不立方那样，观者如云、掌声不断。这由由民营企业华熙集团有限公司投资兴建奥运场馆真的会从此走向辉煌超过60亿元的五棵松体育馆球场拆除后，空置土地利用，相关商业项目何时启动针对坊间的种种传言，日采访了华熙国际投资集团副经理、北京五棵松运营管理有限公司总经理

“作为一家民营企业，歌代国家投资兴建奥运场馆，一方面是对自己有信心，为奥运会乃至中国的体育事业做出贡献；另一方面也是的业务拓展方面进行尝试。国今表示，无论行情，第一个吃螃蟹的人，但风险只是动力，

### 中日低碳环保型住宅产业化技术交流论坛

日期：2010年10月29日(星期五)13:30-16:30  
 会场：北京展览馆3层4号厅  
 主办机构：日本木材出口振兴协议会  
 协办机构：中国国际贸易促进会  
 中国林业科学研究院木材工业研究所  
 国际木文化学会  
 支持机构：日本国农林水产省  
 日本国驻中华人民共和国大使馆  
 住房和城乡建设部住宅产业化促进中心

一、主题演讲

1.日本的森林-林业-木材利用  
 演讲者：日本国林野厅林政部长 末松广行  
 2.日本木材在木结构建筑中的利用  
 演讲者：东京大学名誉教授、木材与胶合板博物馆馆长 冈野康 博士  
 3.日本木结构建筑  
 演讲者：静岡大学教授 安村基 博士  
 二、日本木结构案例介绍

1.木造住居金属构造工法住宅  
 演讲者：MISAWA HOMES CO., LTD.  
 2.高耐久新素材  
 演讲者：越井木材工业株式会社  
 联系人：王先生 电话：13910339782

### 监理招标公告

招标人：西安城市基础设施投资建设集团有限公司  
 招标管理单位：陕西政通市政项目管理有限公司  
 招标代理：陕西恒瑞建设工程监理有限责任公司  
 项目名称：一、阿房路(阿房路-西宝高速)工程；二、电子正街南延伸(雁长交界-西都大道)工程；三、世界墨城南规划路(电子正街-朱雀路)工程；四、雁塔区鱼化工业区规划路-鱼化街(西三环-绕城高速)工程；五、锦三十街道路排水工程；六、仁厚街南段(兴庆路南段-东二环)工程。

工程概况：项目一位于西安市未央区，工程概算约4293万元；项目二位于西安市雁塔区，工程概算约3561万元；项目三位于西安市碑林区，工程概算约2918万元；项目四位于西安市碑林区，工程概算约2000万元；项目五位于西安市碑林区，工程概算约1600万元；项目六位于西安市碑林区，工程概算约1543万元。

报名须知：项目一、二要求市政公用工程监理甲级资质，项目三至六要求市政公用工程监理乙级及以上资质，拟派总监均要求为国家注册监理工程师。报名时携带相关证件原件并提供复印件一套加盖公章。报名费300元，允许投标人同时参加多个项目的投标。

报名时间：2010年10月27日至11月2日(9:00-17:00，节假日除外)  
 报名地址：西安市雁塔路58-A号哈佛公馆裙楼4楼  
 联系人：张工 联系电话：029-68530960

### 杭州

杭州奥年10月-11月  
 招标。本月[2009]279项目总建筑面积上盖物业、能区等(具、施工总资格后审、1.资质等级资质，同2.资金(以经审计)3.业绩项目类似标

企画記事「中日木構造技術交流シンポジウム 間もなく開催」  
 (「中国建設報」10月27日第4、第5面)

中国建设报

面向全国建设领域 打造行业综合性大报

首页 >>> 专题四版

<b>一版</b>
住宅产业化：新十年 新起点 (2010-10-27)
关注普通住宅仍是行业重点 (2010-10-27)
房地产业与经济结构转型 (2010-10-27)
<b>二版</b>
警惕闭门造车式的房产税改革 (2010-10-27)
美国住房保障制度的经验和启示(下) (2010-10-27)
央行连续加息可能性不大 (2010-10-27)
商业地产缺乏产业政策与规划引导 (2010-10-27)
<b>三版</b>
加息撼动楼市 (2010-10-27)
海南加速编制建设事业十二五规划纲要 (2010-10-27)
全国人大常委会调研组建议保障房打破户籍限制 (2010-10-27)
<b>四版</b>
投资者转场二三线城市 (2010-10-27)
险资或推高商业物业价值 (2010-10-27)
北京住宅租金涨势回落 (2010-10-27)
中日木结构技术交流论坛将开 (2010-10-27)

首页 >>> 专题四版

## 中日木结构技术交流论坛将开

来源：中国建设报 2010-10-27

本报讯 记者宋京平报道 10月29日，由日本木材出口振兴协议会主办的“中日低碳环保型木结构住宅产业化技术交流论坛”将在北京举办。该论坛是由住房和城乡建设部主办，住房和城乡建设部住宅产业化促进中心、中国房地产业协会、中国建筑文化中心、北京市住房和城乡建设委员会共同承办的第九届中国国际住宅产业博览会的配套活动之一。

木结构建筑以其耐久性、施工周期短、抗震性强、设计布置灵活、保温节能性好等特点受到广泛关注。在绿色建材、绿色建筑和健康住宅日益受到重视的中国市场，木材作为健康、节能、环保的建材必将越来越受到人们的推崇和喜爱。日本木材出口振兴协议会希望通过本次交流活动，在低碳环保型木结构住宅和木材利用领域加强与中国同行的交流。

宋京平

企画記事「中日木構造技術交流シンポジウム 間もなく開催」

(「中国建設報」10月27日電子版：)

[www.chinajsb.cn/bz/content/2010-10/27/content\\_11190.htm](http://www.chinajsb.cn/bz/content/2010-10/27/content_11190.htm)



**CIEHI**  
中国·住博会

## 第九届中国国际住宅产业博览会

时间：2010年10月28-30日  
地点：北京展览馆

大会主题：发展绿色经济，共筑绿色家园



展会回顾
展商手册
展会介绍
研讨活动
同期活动
首 页
联系我们
English

展会介绍

展会概况

会场介绍

展会活动

展会回顾

关于我们

首页 > 中日低碳环保型木结构住宅产业化技术交流论坛

### 中日低碳环保型木结构住宅产业化技术交流论坛将隆重召开

由住房和城乡建设部主办、住宅产业化促进中心、中国房地产业协会、中国建筑文化中心、北京市住房和城乡建设委员会共同承办的第九届中国国际住宅产业博览会将于10月28-30日在北京展览馆举办。在本届住博会举办期间的10月29日下午，日本木材出口振兴协会在住宅产业化促进中心、日本国农林水产省、日本国驻华大使馆的大力支持和本届住博会组委会、中国林业科学研究院木材工业研究所、国际木文化学会的大力协助下将在北京展览馆3层4号会议厅隆重召开“中日低碳环保型木结构住宅产业化技术交流论坛”。这是主办方继8月17日在2010上海国际木结构环保住博会期间召开了“中日木材与木结构建筑研讨会”之后的一次有关日本木材和木结构建筑交流的活动。

从主办方获悉，中国建筑学会木结构专业委员会和世博集团上海现代国际展览有限公司于去年共同举办了上海国际木结构环保住博会，日本木材出口振兴协会也积极参与了该博览会的策划，并于当年组织了十余家日本木材与木结构公司参展。今年，日本木材出口振兴协会又率领十三家企业共同参展，面向中国市场隆重推出了日本的高品质木材和先进的木结构建筑技术，向中国消费者精彩演绎了日本木材产品和木结构建筑的优良性能和低碳环保生活的内涵。

据了解，木结构建筑在日本备受推崇和喜爱，其原因其实很简单，就是人们充分认识到源于大自然的木材是健康、节能、环保的优良建材，不仅自重轻而且抗震性能和调节室内湿度性能优越，对居住者非常友好。加之近年来得益于人们越来越认识到通过利用木材建造木结构建筑不是对森林和环境的破坏，反而是对环境的贡献这一观念的转变。因为木结构建筑的建造和消费，可以促进森林的可持续性成长，提高森林对环境的效能发挥和以木结构建筑的形式长期地把碳素固定而对温室效应等气候变化的良好影响。正基于此，日本木材出口振兴协会一直坚信：\*就人类居住的建筑而言，既能满足人们对居住空间高品质要求，又能充分体现低碳环保生活方式的建筑形式，首推木结构建筑。在绿色建材、绿色建筑和健康住宅日益受到重视的中国市场的健康节能环保和喜智的同时根据需要进行防火、防腐、防白蚁等处理来体现木制品的耐久性能，建造有益健康、有利环保、高耐久性、高抗震性的木结构住宅和大型木结构公共建筑。

在本次交流论坛上，日本国林野厅负责人、东京大学和静冈大学的教授将分别就日本的木材利用、木结构公共建筑的建设经验，日本木材在木结构建筑中的利用、木结构建筑形式和技术作主题演讲，其她MISARA HOMES CO., LTD.、穗井木村工业株式会社将分别介绍超耐久木材和木结构涂装涂料施工法等。

日本木材出口振兴协会希望通过本次交流活动，在低碳环保型木结构住宅和木结构利用领域加强与中国同行的交流，有意参加论坛的人士，可直接电话联系王先生（139-1023-9702）。

#### 中日低碳环保型住宅产业化技术交流论坛——日本木材研讨会

日期:	2010年10月29日(星期五) 下午13:30-16:30
会场:	北京展览馆3层4号厅(北京西城区西直门大街128号)
主办机构:	日本木材出口振兴协会
协办机构:	中国国际住宅产业博览会组委会 中国林业科学研究院木材工业研究所 国际木文化学会
支持机构:	日本国农林水产省 日本国驻华人民共和国大使馆 住房和城乡建设部住宅产业化促进中心
会议主题:	日本木材与木结构建筑
<b>议 程</b>	
举办启动仪式:	日本木材出口振兴协会 (13:30-13:35)
开幕致辞:	住房和城乡建设部住宅产业化促进中心 (13:35-13:40) 日本国驻华人民共和国大使馆 (13:40-13:45)
主题演讲:	日本的森林·林业、木材利用 (13:45-14:15) 日本国林野厅林政部长 末松广行 日本木材在木结构建筑中的利用 (14:15-14:45)
主题演讲:	

第9回中国国際住宅産業博覧会公式サイトによる「日本産木材説明会」開催の告知  
(www.ciehi.tv/huiyi-zhongri.htm)